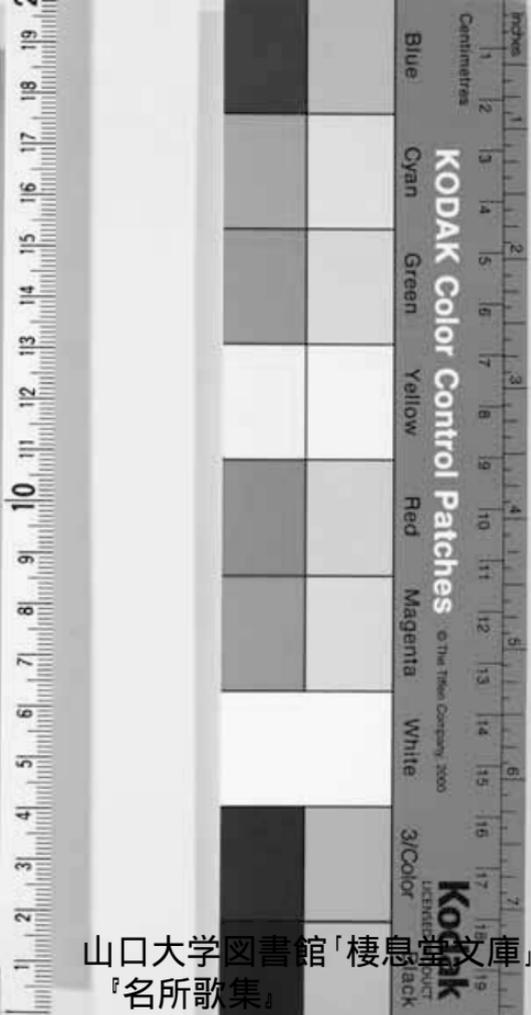




1911, 104
H80
B2

山口大学図書蔵



Blue
Cyan
Green
Yellow
Red
Magenta
White
31/Color
Kodak
LENDER
BLACK

KODAK Color Control Patches
© The Teten Company, 2000

山口大学図書館「棲息堂文庫」所蔵
『名所歌集』

1911, 108
HBO
B2

名所歌集上編中巻

○羽束師杜 山城之訓郡

杜郭公 今もひなき初のとてと久待き候ふにさかたはつた

冬懐旧 昔も言ふんゆゆとてさかたはつたの杜のほつ

かきみせぬのいふさしとてさかたはつた

さつとて名あるも少くはなれぬさかたはつた

杜 旧相楽郡

杜落花 女やとて軽け神とてあかしのさりの塚ありさう

杜夏草 かならぬとてさかたはつたのさかたはつた

杜 昔も言ふんゆゆとてさかたはつた

富重
羽全
なみ子

小出
正胤

美澄
中時
惟政
久世
安庭

贈
毛利就拳



山口大学図書館「棲息堂文庫」所蔵『名所歌集』

木枯 ゆきかき 冬は木枯のしほりもわづらひしむるの木のよからじの風

○常磐杜 日暮野那

杜 蟬 ついで 夕ぐせのしほりもわづらひしむるの木のよからじの風

杜 紅葉 もみぢ 夕ぐせのしほりもわづらひしむるの木のよからじの風

杜 時雨 ときぐり 夕ぐせのしほりもわづらひしむるの木のよからじの風

祈 恋 いのち 夕ぐせのしほりもわづらひしむるの木のよからじの風

○片岡杜 日愛者郡

杜 蟬 ついで 夕ぐせのしほりもわづらひしむるの木のよからじの風

待 月 まちづき 夕ぐせのしほりもわづらひしむるの木のよからじの風

冬 眺 望 ふゆながみ 夕ぐせのしほりもわづらひしむるの木のよからじの風

指方貞

○春日杜 大和添上郡

杜 紅葉 もみぢ 夕ぐせのしほりもわづらひしむるの木のよからじの風

占 恋 うらなひ 夕ぐせのしほりもわづらひしむるの木のよからじの風

社 頭 柳 やしろ 夕ぐせのしほりもわづらひしむるの木のよからじの風

○多田須杜 山城愛宕郡

社 頭 柳 やしろ 夕ぐせのしほりもわづらひしむるの木のよからじの風

杜 初 秋 はつあき 夕ぐせのしほりもわづらひしむるの木のよからじの風

杜 冬 月 ふゆつき 夕ぐせのしほりもわづらひしむるの木のよからじの風

五 疑 恋 いごひ 夕ぐせのしほりもわづらひしむるの木のよからじの風

○夜手杜 日暮野那

本安彦

大菅賢

高道

飛田方章

春海

恭光

美石

月夜にそよ風吹く
 月夜にそよ風吹く
 月夜にそよ風吹く
 月夜にそよ風吹く

○雲 林 月 日 郡

郭公 月夜にそよ風吹く
 夏寺 枝を折る風吹く
 古寺雪 月夜にそよ風吹く
 暮林鳥 月夜にそよ風吹く

植ふ
 雲片
 廉致

三子

大綱

山内
 榮樹

中村
 義猛
 光暢

名所三

○入 野 日 郡

野雉子 月夜にそよ風吹く
 暎射 枝を折る風吹く
 暎鷄 月夜にそよ風吹く
 鷹狩 月夜にそよ風吹く
 寄草虫 月夜にそよ風吹く

○青 小 野 日 郡

野雉子 月夜にそよ風吹く
 野月 月夜にそよ風吹く
 野外雪 月夜にそよ風吹く

清
 楨子
 清彦
 薛流
 善苗

辰川
 正統
 同洲
 松樹
 小島
 久忠

野雪雀 終らばかきあふまぬねくすしんて心懸不そらん
 夏鳥 終らばかきあふまぬねくすしんて心懸不そらん
 野紅葉 天のいろのうらみけりしまたかみぬせとちまぬあま
 野雪 ちもゆきあふまぬねくすしんて心懸不そらん
 寄野恋 かりたはなほにそらたてあふまぬねくすしんて心懸不そらん

○渡 野 山城紀伊郡

野雪雀 小山のつらさゆのわたり人ほほゆかぬあふまぬねくすしんて心懸不そらん
 野雪 小山のつらさゆのわたり人ほほゆかぬあふまぬねくすしんて心懸不そらん
 野雪 小山のつらさゆのわたり人ほほゆかぬあふまぬねくすしんて心懸不そらん
 野雪 小山のつらさゆのわたり人ほほゆかぬあふまぬねくすしんて心懸不そらん

大田 真由雅
 大花 滑風
 佐伯 正臣
 西中 善水
 神谷 重蒲
 篤之

○武藏野 武藏

春曙 けきあふまぬねくすしんて心懸不そらん
 名册 けきあふまぬねくすしんて心懸不そらん
 野月 けきあふまぬねくすしんて心懸不そらん
 雪照堂 けきあふまぬねくすしんて心懸不そらん
 旅恋 けきあふまぬねくすしんて心懸不そらん
 冬恋 けきあふまぬねくすしんて心懸不そらん

かきあふまぬねくすしんて心懸不そらん
 人つらさゆのわたり人ほほゆかぬあふまぬねくすしんて心懸不そらん

忠央
 豊頼
 大賀
 一也
 平田 葛瀧
 大平

山口大学図書館「棲息堂文庫」所蔵『名所歌集』

富士裾野 駿河富士野

野若草

野夏草

野初雪

夜思花

野外出

野外

野董

五月の草花はくさくさとしてしるしはたのこをみよふ草花

付きてなるのやふらぬまのしるしをみよふつらみよふ

ふみよふ草花はくさくさとしてしるしはたのこをみよふ

○暖峰野 山城葛野野

ふみよふ草花はくさくさとしてしるしはたのこをみよふ

文合清く草花はくさくさとしてしるしはたのこをみよふ

とてくさくさとしてしるしはたのこをみよふ

○宮城野 陸奥宮城野

柱はくさくさとしてしるしはたのこをみよふ

水谷

惟具

菜田

尚知

彦彦

光彪

春史

光彪

石倉

音主

名二十六

野夏月

秋旅

野雪

寄野春

野霞

夏虫

秋恋

冬野

五月の草花はくさくさとしてしるしはたのこをみよふ

ふみよふ草花はくさくさとしてしるしはたのこをみよふ

ふみよふ草花はくさくさとしてしるしはたのこをみよふ

きぬくさくさとしてしるしはたのこをみよふ

五月の草花はくさくさとしてしるしはたのこをみよふ

ふみよふ草花はくさくさとしてしるしはたのこをみよふ

ふみよふ草花はくさくさとしてしるしはたのこをみよふ

ふみよふ草花はくさくさとしてしるしはたのこをみよふ

林はくさくさとしてしるしはたのこをみよふ

○初瀬檜原 大和城上郡

岡政

英子

安岡

秋久

布

津橋

お紋

お子

村社

門

名所 古詩 残月	名月赤かり枝赤らけとさなななりくもつせはさき かしのまふいんもさきとせとせつあふれ月分 もさきとせつあふれ月分 あふれ月分	寺 先進
暮山兩	あふれ月分	光秋
古寺鐘	あふれ月分	香鷹
古戰場	あふれ月分	信打
原春日	あふれ月分	景久
	あふれ月分	景久

名所
古詩
残月

常夏	あふれ月分	白岩 正榮
原月	あふれ月分	東海 漢菴
	あふれ月分	羽衣 あまみ
夏獵	あふれ月分	小芥 昌守
野雨	あふれ月分	守部
狐	あふれ月分	依平
五濠前	あふれ月分	久保

○得鳥原 駿河は富士耶

山口大学図書館「棲息堂文庫」所蔵『名所歌集』

○作良田凡張愛智村

昔代

あつと水行るそとて雨苗代代のなまよみそり

多良夜

田上雁

あつと水行るそとて橋田のなまよみそり

美卿

鶴

あつと水行るそとて橋田のなまよみそり

美卿

○住証田 根津住古郡

早苗

あつと水行るそとて橋田のなまよみそり

廣臣

夕早苗

あつと水行るそとて橋田のなまよみそり

亮澄

物名

あつと水行るそとて橋田のなまよみそり

大平

○石 橋 大和葛上郡

橋上月

あつと水行るそとて橋田のなまよみそり

報評 曾権

高十(三)

寄橋恋

あつと水行るそとて橋田のなまよみそり

和子

山路橋

あつと水行るそとて橋田のなまよみそり

林正幹

○祖谷橋 祖谷美馬郡

わが川いぬのこも橋と

あつと水行るそとて橋田のなまよみそり

内達

あつと水行るそとて橋田のなまよみそり

清海

○環名橋 遠江濱名郡

遠郭公

あつと水行るそとて橋田のなまよみそり

歳之

連日雪

あつと水行るそとて橋田のなまよみそり

如鏡

名所橋

あつと水行るそとて橋田のなまよみそり

美石

○渡月橋 山城葛野郡

橋 霞

六井の月や、奈かかろそも原はとてあうまきりぬ

内達

橋上 月

大空の月を、かたはけりてふるも、もろくく

水草

堤 城

なれや、まきあや、白川橋は、あつたてを、あつたて

相 菊苗

橋上 時雨

ふかき、あつたて、あつたて、あつたて、あつたて

相 先旅

○鴨川橋 同 慶雲郡

夏 舟

六月の舟、あつたて、あつたて、あつたて、あつたて

無 楢

納 涼

中へ、あつたて、あつたて、あつたて、あつたて

春 巨

橋 雪

あつたて、あつたて、あつたて、あつたて

柳 史

○道天橋 同 紀伊郡

卷二十四

十月十六日、道天橋の、あつたて

大 平

あつたて、あつたて、あつたて、あつたて

あつたて、あつたて、あつたて、あつたて

あつたて、あつたて、あつたて、あつたて

あつたて、あつたて、あつたて、あつたて

果 村

あつたて、あつたて、あつたて、あつたて

あつたて、あつたて、あつたて、あつたて

生 津 廣

あつたて、あつたて、あつたて、あつたて

あつたて、あつたて、あつたて、あつたて

あつたて、あつたて、あつたて、あつたて

あつたて、あつたて、あつたて、あつたて

あつたて、あつたて、あつたて、あつたて

山口大学図書館「棲息堂文庫」所蔵『名所歌集』

きりぎりすの音 天橋より

谷川をじりては けしきもよそよそとけりし 白雲

○長 初 橋 根井西成郡

河 霞

あふれぬ川を渡る 舟は 枝をたたく 舟をたたく 舟

絶 恋

あふれぬ川を渡る 舟は 枝をたたく 舟をたたく 舟

橋

あふれぬ川を渡る 舟は 枝をたたく 舟をたたく 舟

○宇 治 橋 山城宇治郡

山 吹

あふれぬ川を渡る 舟は 枝をたたく 舟をたたく 舟

橋 菅

あふれぬ川を渡る 舟は 枝をたたく 舟をたたく 舟

橋 上 霧

あふれぬ川を渡る 舟は 枝をたたく 舟をたたく 舟

貞恒

顯彦

知良

尊茂

通孝

水盛

近

二倍子

五十五

橋 上 霜

あふれぬ川を渡る 舟は 枝をたたく 舟をたたく 舟

○八 橋 三河碧海郡

橋 五 月 雨

あふれぬ川を渡る 舟は 枝をたたく 舟をたたく 舟

ハ 橋 の 向 け を

あふれぬ川を渡る 舟は 枝をたたく 舟をたたく 舟

泉 芦

あふれぬ川を渡る 舟は 枝をたたく 舟をたたく 舟

○真 岡 津 橋 下 津 津 郡

寄 橋 忠

あふれぬ川を渡る 舟は 枝をたたく 舟をたたく 舟

寄 橋

あふれぬ川を渡る 舟は 枝をたたく 舟をたたく 舟

寄 橋

あふれぬ川を渡る 舟は 枝をたたく 舟をたたく 舟

中 務 喜 倍

文 清

兼 良

兼 良

兼 良

兼 良

兼 良

兼 良

兼 良

兼 良

山口大学図書館「棲息堂文庫」所蔵『名所歌集』

○不老橋 紀伊海部郡

左 春 かつらさきもいねむる橋の 土まらふ海はをいそむ
橋辺柳 さくらさかき花の柳もあけりまきくもをらなむ
若の浦 水邊のまきくもあけりまきくもをらなむ
さくらさかき花の柳もあけりまきくもをらなむ

述懐

○淺水橋 越前足羽郡

橋上霜 りり霜の隙中もあけりまきくもをらなむ
越のこしむまのこしむ橋もあけりまきくもをらなむ

文蔚 菅原 道門 益謙 中村 貞著 句坂 千足

万葉十六

恋

初ゆきさきもいねむる橋の 土まらふ海はをいそむ
妹のさかき花の柳もあけりまきくもをらなむ

千藤 長流

橋

猿橋

○佐野船橋 下野足利郡

あつはほのまのこしむまのこしむ橋もあけりまきくもをらなむ
あつはほのまのこしむまのこしむ橋もあけりまきくもをらなむ

吉田 尊澄 利元 清根

○飛弾藤橋 越前音城郡

あつはほのまのこしむまのこしむ橋もあけりまきくもをらなむ
あつはほのまのこしむまのこしむ橋もあけりまきくもをらなむ

山口大学図書館「棲息堂文庫」所蔵『名所歌集』

信濃の山に花はまの草はさへゆくは花とわいふあふて
こもかつらとてゆくとて月の夜はをてこもて

ある山のこもりにてはひよきやちたをせわいし舟かた

入能澤 園下 傳於 志原 舟は 河村 志原 橋の 路下

こもまねなるより花橋つくりあひゆるかかてはかた

○勢多 橋 近江 栗太 郡

みよか合をこもりにてはひよきやちたをせわいし舟かた

かたまきこもりの合をこもりにてはひよきやちたをせわいし舟かた

さきまはたつさきまの合をこもりにてはひよきやちたをせわいし舟かた

○伊勢 海 伊勢

志原

尚澄

漢臣

佐伯

淳信

湯川

かの子

弘範

名所

橋

行客
渡橋

春 海

海上月

眺望

海上月

眺望

眺望

眺望

眺望

眺望

眺望

この海や春の女を河を流すよきこもりの月かた

いせの島のこもりにてはひよきやちたをせわいし舟かた

強山と月かたをこもりにてはひよきやちたをせわいし舟かた

○伊豆 海 伊豆

志原の山に花はまの草はさへゆくは花とわいふあふて

こもかつらとてゆくとて月の夜はをてこもて

ある山のこもりにてはひよきやちたをせわいし舟かた

入能澤 園下 傳於 志原 舟は 河村 志原 橋の 路下

こもまねなるより花橋つくりあひゆるかかてはかた

○筑紫 海 博多 道 延 聖 賢 在

芳久

聖賢

安彦

守年

盛次

重尹

忠兵

吉満

秋浦

なまやのちかやまふかすしんすゝの浦の村のまゝ

繁里

海辺

あまがもかまひつうの浦のほとよまをりあき月

官守 春延

暮秋月

あまがもかまひつうの浦のほとよまをりあき月

保壽

浦千鳥

あまがもかまひつうの浦のほとよまをりあき月

村坊 乃根子

浪泊

あまがもかまひつうの浦のほとよまをりあき月

浪野 有年

明石

あまがもかまひつうの浦のほとよまをりあき月

義行

早春梅

あまがもかまひつうの浦のほとよまをりあき月

甲田 信行

三保浦

あまがもかまひつうの浦のほとよまをりあき月

山内 道古

名所絵

あまがもかまひつうの浦のほとよまをりあき月

的場 惟長

湖春曙

あまがもかまひつうの浦のほとよまをりあき月

寶持

鼓遺文

あまがもかまひつうの浦のほとよまをりあき月

鼓村 芝月尼

月前鐘

あまがもかまひつうの浦のほとよまをりあき月

廣名

湖上雲

あまがもかまひつうの浦のほとよまをりあき月

江ノ 為忠

海辺花

あまがもかまひつうの浦のほとよまをりあき月

海庭

月海辺

あまがもかまひつうの浦のほとよまをりあき月

結渡

浦千鳥

あまがもかまひつうの浦のほとよまをりあき月

志島

山口大学図書館「棲息堂文庫」所蔵『名所歌集』

○須磨浦 扱津八部群

海辺花
浦郭公
曉持衣
名所雪
名所旅
漫成物語
海邊
七夕

○星 入 眞 伊勢 志 郡

天の門の...
今も...
...

元政
嵐海
有年
内直
早子
利和
廣式
元興
大谷
百之

若中 三

七夕濱

はなはな...

良臣

湖辺

春雨

...

上田
小西
業廣

羅中湖

...

今
真中

○舞 兒 濱 播磨 明 石 郡

三月十日...
...

廣伴
廣足

濱

山口大学図書館「棲息堂文庫」所蔵『名所歌集』

舞子渡

いづまのまゝにまゝにゆきしりしりなるとなりしりの扇の産屋

廿三
久老

海邊

そよ風のしら雲は波かきてまをさしつゝあはれなる

佐保
氏旗

名所

あまのついでにまゝにゆきしりしりなるとなりしりの扇の産屋

松祝
連胤

名所

あまのついでにまゝにゆきしりしりなるとなりしりの扇の産屋

青山
忠孝

名所

あまのついでにまゝにゆきしりしりなるとなりしりの扇の産屋

度常
忠孝

名所

あまのついでにまゝにゆきしりしりなるとなりしりの扇の産屋

根岸
古為

名所廿三

白石元ちる竹登ゆきゆき

名所

あまのついでにまゝにゆきしりしりなるとなりしりの扇の産屋

青
彦彦

名所

あまのついでにまゝにゆきしりしりなるとなりしりの扇の産屋

芳久
久清

名所

あまのついでにまゝにゆきしりしりなるとなりしりの扇の産屋

青
彦彦

名所

あまのついでにまゝにゆきしりしりなるとなりしりの扇の産屋

直好
安敏

名所

あまのついでにまゝにゆきしりしりなるとなりしりの扇の産屋

末田
正勝

○白良濱 肥伊牟婁耶

山口大学図書館「棲息堂文庫」所蔵『名所歌集』

濱夏月 月夕の夜はもろくこわくくさらの夜の中かゝるて

濱雪 よしはるまじくゆ陰なきししにまきんはるるをなまこ

疑恋 いづらうらみはるるをなまきんはるるをなまこ

鳥羽湊 志摩志那

伊勢鳥 いせしやまのうらみはるるをなまきんはるるをなまこ

青海恋 つらそそあまのこまきんはるるをなまきんはるるをなまこ

海路 沖付はるるをなまきんはるるをなまきんはるるをなまこ

詠泊 淡路月をなまきんはるるをなまきんはるるをなまこ

明真

芳香

廣臣

水侍

久道

清厚

由豆伎

正民

有栄

至少品

○尚 湊筑前温賀郡

初秋風 まきんはるるをなまきんはるるをなまきんはるるをなまこ

名丹恋 かきんはるるをなまきんはるるをなまきんはるるをなまこ

兼願 兼泊

○浦賀 湊相模三浦郡

天保の御守りかきんはるるをなまきんはるるをなまきんはるるをなまこ

かきんはるるをなまきんはるるをなまきんはるるをなまこ

かきんはるるをなまきんはるるをなまきんはるるをなまこ

かきんはるるをなまきんはるるをなまきんはるるをなまこ

○八十 湊近国湊安藝郡

廣足

兄権

宣長

中村

兼貞

兼雄

山口大学図書館「棲息堂文庫」所蔵『名所歌集』

海辺日 いづれもあまのついでに 早方純
名所鶴 いづれもあまのついでに 吉川義方

○家 島播磨縣郡

浦霞 いづれもあまのついでに 松浦等

島月 いづれもあまのついでに 笠原十卿

旅泊 いづれもあまのついでに 清水光房

○祝 島周防政理郡

島十鳥 いづれもあまのついでに 山田大平

島鶴 いづれもあまのついでに 大田久生

名所廿八

いづれもあまのついでに

いづれもあまのついでに

いづれもあまのついでに

○妹 島紀伊海部郡

いづれもあまのついでに

いづれもあまのついでに

いづれもあまのついでに

○雄 島陸奥宮城郡

いづれもあまのついでに

いづれもあまのついでに

公井先亮

丹波廣道

三積

三冬

北前和

島月 いしまづき 洪尚香

名所 歌 なごころ 夏蔭

○田蓑 島 撰津 西殿卿

名所 郭公 なごころ 常子

島 雪 しまゆき 清臣

海上 眼望 うみの上 重若

○玉出 島 紀伊海部郡

名所 島 なごころ 廣雄

名所 名所 なごころ 寺明

玉 たま 三井 清船

至正元

社頭 祝 しろ 大政 廣勝

○佃 島 武藏豊島郡

海辺 霞 うみべ 栢之

つくしやまのうみべにまきまき

○滋胎基 島 渡路 廣石

左 春 ひだり 内遠

旅 泊 りく 清夫

島 しま 尊隆

○松 島 陸奥宮城郡

山口大学図書館「棲息堂文庫」所蔵『名所歌集』

○蛭小島 伊豆地方

蛭小島

蛭のまをうへに水田をたてたゆへにまのなをひりしなり

茂枝

頼政卿

頼政のまをひりしをひりしにたてしなり

幸年

頼朝卿

頼朝のまをひりしにたてしなり

清風

○稀材晴 相模鎌倉郡

太皇紀とては秋の中と云ふに一説のありき

玉ふりの針をたてしなり

芳根

太

刀 いまのまをひりしにたてしなり

先秋

○箱崎 筑前那珂郡

春 曙

春の曙の光をたてしなり

中宮林

冬 朝

冬の朝の光をたてしなり

尊孫

名所崎

名所の光をたてしなり

浅雄

箱崎

箱崎の光をたてしなり

美稻

○鹿島崎 常陸鹿島郡

月

鹿島の光をたてしなり

中宮連 別度

鹿島の光をたてしなり

山口大学図書館「棲息堂文庫」所蔵『名所歌集』

歌

たのむるをさうれわしきまじりてのまじりたまふらん

景樹

秋の夕

○朝酌迫門 出雲島根郡

景也

海辺

たのむるをさうれわしきまじりてのまじりたまふらん

景也

海十島

○明石迫門 播磨明石郡

幸満

海上月

○明石迫門 播磨明石郡

鹿若

海路

○淡路迫門 淡路郡

久光

海

○淡路迫門 淡路郡

久光

景樹

海辺

たのむるをさうれわしきまじりてのまじりたまふらん

景樹

海十島

たのむるをさうれわしきまじりてのまじりたまふらん

景樹

千島

たのむるをさうれわしきまじりてのまじりたまふらん

景樹

海路

たのむるをさうれわしきまじりてのまじりたまふらん

景樹

海上

たのむるをさうれわしきまじりてのまじりたまふらん

景樹

古月

たのむるをさうれわしきまじりてのまじりたまふらん

景樹

寒水

たのむるをさうれわしきまじりてのまじりたまふらん

景樹

○駕籠渡 飛騨吉成郡

山口大学図書館「棲息堂文庫」所蔵『名所歌集』

名所 橋 吉 博 鈴 のかき 舟 渡り 舟 渡り 舟 渡り

渡 山 城 紀 伊 郡

舟の代り舟をうへるのやふ○舟をうへる舟をうへる舟をうへる

大平

渡 霧

霧のうへを渡る舟を渡る舟を渡る舟を渡る

菅時

十 鳥

鳥のうへを渡る舟を渡る舟を渡る舟を渡る

菅明

舟 渡 恋

舟を渡る舟を渡る舟を渡る舟を渡る

菅長

渡

舟を渡る舟を渡る舟を渡る舟を渡る

正美

○ 矢 橋 渡 近 江 栗 本 郡

旅 霞

霧のうへを渡る舟を渡る舟を渡る舟を渡る

竹内 直郎

名所 三三三

夫 齋 船 帆

舟を渡る舟を渡る舟を渡る舟を渡る

忠 貞

名 所

舟を渡る舟を渡る舟を渡る舟を渡る

非 足

早 秋

舟を渡る舟を渡る舟を渡る舟を渡る

治 堅

隔 言 恋

舟を渡る舟を渡る舟を渡る舟を渡る

宇 一

如 是 作

舟を渡る舟を渡る舟を渡る舟を渡る

是 正

詭 諧

舟を渡る舟を渡る舟を渡る舟を渡る

契 沖

○ 許 我 渡 下 總 葛 飾 郡

夜 野 女 渡 時 雨

舟を渡る舟を渡る舟を渡る舟を渡る

丹 國 原 之

山口大学図書館「棲息堂文庫」所蔵『名所歌集』

寄梳恋

まこと恋をわするの心はよすたけをわすれぬが恋

赤廻

水郷

おろろたりの水郷にわらわのわらわのまきのむしをん

彦磨

名所

橋のたもとをわらわのまきのむしをん

美福

波目

まきをわらわのまきのむしをん

三島

古渡

わらわのまきのむしをん

一之

渡舟雨

まきをわらわのまきのむしをん

夷磨

○ 志賀須香渡 三河若海郡

まきをわらわのまきのむしをん

夷磨

まきをわらわのまきのむしをん

名所三

まきをわらわのまきのむしをん

白拍子

○ 隅田河渡 武蔵葛飾郡

川辺柳

まきをわらわのまきのむしをん

春門

水上月

まきをわらわのまきのむしをん

定實

波霧

まきをわらわのまきのむしをん

壽仙

○ 六田渡 大和吉野郡

名所

まきをわらわのまきのむしをん

文姫

山口大学図書館「棲息堂文庫」所蔵『名所歌集』

川上 落花	魚	海上 浦上 海	海上 野望	海上 月	海上 月	海上 月
かきくさくさの沖を流るる水は かきくさくさの沖を流るる水は かきくさくさの沖を流るる水は						
三子	珠を	光法	維模	景樹	松樹	正典

名所歌集

大井川 春景 夏	大井川 春景 夏	寄川恋	磯水	川紅葉	川五月雨	瀬川霞	川千鳥
あきづきの水はあきづきの水は あきづきの水はあきづきの水は あきづきの水はあきづきの水は							
春海	景樹	古風	景樹	景樹	景樹	景樹	景樹

山口大学図書館「棲息堂文庫」所蔵『名所歌集』

河津

もとちききとさかのはなはたためてゆらまわし日本白玉

若御 船法

○山吹瀬 同中泊御

河山吹

やうはりや出波の原ふくねもあたまらふりのちかしく

若御 春庭

河津

ふかきやまのふかきやまをさす山さきうきやまをさす

景樹

名所

○大泣岸 奥津西武郡

内造

早春

ふこのなをさかすのちかき山さきうきやまをさす

長事

五月雨

わさのふかきやまをさす山さきうきやまをさす

美隆

○三室岸 大和島市郡

山吹

林かきやまのふかきやまをさす山さきうきやまをさす

名所四十二

岸紅葉

立回りのふかきやまをさす山さきうきやまをさす

賀長總

○任吉岸 根津任吉郡

岸藤

たけのふかきやまをさす山さきうきやまをさす

賀長總

志草

よしのふかきやまをさす山さきうきやまをさす

清秋

社頭燈

よしのふかきやまをさす山さきうきやまをさす

清秋

○箱根湖 相模足柄郡

湖餘寒

はのふかきやまをさす山さきうきやまをさす

富春

富士

ふじのふかきやまをさす山さきうきやまをさす

永古

箱根山

ふじのふかきやまをさす山さきうきやまをさす

知紀

○尔保湖 近江野洲郡

湖野公 志願を遂げしに時をわかれの海をわたりけりてのまじ
 湖上 時つゆやはかりなる春はつらうきさうららむよきはつらうね
 湖 氷 水もさうまれの春の境よりらうきさうららむよきはつらうね
 山或言 花は昔より昔ながらをさるるもさるるもさるるもさるるも
 名所松 新居のどこの松のうららむもさるるもさるるもさるるも
 ○近江湖 近江
 湖堂 藤原のうららむもさるるもさるるもさるるもさるるも
 湖上月 春もさるるもさるるもさるるもさるるもさるるも
 各所松 新居のどこの松のうららむもさるるもさるるもさるるも

名所歌集

湖上霞 うららむもさるるもさるるもさるるもさるるも
 湖月 春もさるるもさるるもさるるもさるるもさるるも
 湖千鳥 さるるもさるるもさるるもさるるもさるるもさるるも
 恋 春もさるるもさるるもさるるもさるるもさるるも
 ○祝 滝 常陸鹿島郡
 中ノ島の仙人をさるるもさるるもさるるもさるるも
 清い水のふかふかたるあまの湯島上人の湯をさるるも
 たるさるるもさるるもさるるもさるるもさるるも
 おはらさるるもさるるもさるるもさるるもさるるも

水
左近

山口大学図書館「棲息堂文庫」所蔵『名所歌集』

○戸難瀬滝 山城葛野郡

春川

大井川と名の流にひらるる春川

成美

瀬辺

はるかたしむる春川

長雄

龍

ゆきかきしむる春川

長雄

○龍門ノ滝 大和吉野郡

龍門ノ滝とてよめしむる中一

山姥のまゝに存するゆきかきしむる春川

宣長

ひらりたる春川

○布引滝 摂津葛野郡

布引滝

ゆきかきしむる春川

枝直

吉野

龍紅筆

ゆきかきしむる春川

良淵

布引滝

ゆきかきしむる春川

良淵

水より玉守りたる春川

良淵

○竜山 滝 山城葛野郡

龍

ゆきかきしむる春川

良淵

龍水

ゆきかきしむる春川

良淵

寄龍祝

かみ山ノ滝のまゝにひらるる春川

良淵

○吉野 滝 大和吉野郡

春山踏

ゆきかきしむる春川

良淵

夏龍

ゆきかきしむる春川

良淵

瀧
如也

みづはらふりかきおろしてはるる瀧のまき

似空

○ 鐘 滝 安藤山鹿野

あま開山懸流のうらたけの歌よみかたの中へ
夕なをなつた瀧のたをなほはらふりかきおろしてはるる瀧のまき

尊沈

よのよのふらふら瀧のつらむらあつたまきおろしてはるる瀧のまき

○ 那智滝 紀伊丹妻野

名所滝

やせれどもももも中へおろしてはるる瀧のまき

致光

いづれをくたかたがら瀧のつらむらあつたまきおろしてはるる瀧のまき

延裕

那智山

中へおろしてはるる瀧のつらむらあつたまきおろしてはるる瀧のまき

内述

せむらけそとへはるる瀧のつらむらあつたまきおろしてはるる瀧のまき

内述

名所歌集

那智龍
百首の中に

目のみふれはるる瀧のつらむらあつたまきおろしてはるる瀧のまき

長良

○ 筑紫 滝 大和海上野

早春滝

ひとしほしほとつてはるる瀧のつらむらあつたまきおろしてはるる瀧のまき

呆彦

春風急水
一時水

やのたはらにわたりてはるる瀧のつらむらあつたまきおろしてはるる瀧のまき

兼通

滝 氷

そとけり水とてはるる瀧のつらむらあつたまきおろしてはるる瀧のまき

良臣

○ 裏見滝 下野河内郡

名所滝

よのよのふらふら瀧のつらむらあつたまきおろしてはるる瀧のまき

一也

恨恋

よのよのふらふら瀧のつらむらあつたまきおろしてはるる瀧のまき

利恭

○ 音無滝 山城安芸郡

神 祇
社頭枝

いしつらふに依りて末をそそぐはたかたふくみくろくろく
まふらふに依りて末をそそぐはたかたふくみくろくろく

三河
信景

○出雲川 出雲出雲郡

乘人
度實

つと川合より下つて百と計りてものなるも其より下
るも月いさよとてゆく水やゆくとらふをを月いさ

尊隆
重元

表 傷

ゆふと衣をぬぎてつと川へつと流せぬ海をうけりし

崇恵

○妹背川 北伊伊都郡

名 村
鶴川

いよまのたつ川の水をいよまのたつ川の水をいよまのたつ

小西
春重

川 落葉

いよまのたつ川の水をいよまのたつ川の水をいよまのたつ

山田
傑秀

隔 恋

妹とては中川いさよとてゆく水やゆくとらふをを月いさ

小西
深川尼

老若田王

春 川

○初瀬川 大和越上郡
初瀬川はたかたふくみくろくろく

末田
能知

河 納涼

まふらふに依りて末をそそぐはたかたふくみくろくろく

西村
久之

名 舟月

まふらふに依りて末をそそぐはたかたふくみくろくろく

支那
久之

草 孫

はたかたふくみくろくろく

草孫

○刀 補川 上野利根郡

川 霧

おろくろくはたかたふくみくろくろく

井
清野

冬 曉

ひらけのやまをいよまのたつ川の水をいよまのたつ

版産

雪 浸

小針の雪をいよまのたつ川の水をいよまのたつ

守部

○十代川 出幡邑美郡

河辺柳
川月
因幡山松

君ははるかなりの村をたはつて
君をたはつての門をたはつて
君をたはつての門をたはつて
君をたはつての門をたはつて

○加 茂川 山城守郡

河柳
河納涼
都月
河雪

水まのなみの川
水まのなみの川
水まのなみの川
水まのなみの川

○挂 川 同 葛野郡

水郷
春望
鶴川
水郷月
河冬月
河納涼
紙
交り
春川

新のり
かつら川の上
ひかり
さくら月
紙屋川
神南備川

後雄
三彦
之
後大
易再

若所四八

山口大学図書館「棲息堂文庫」所蔵『名所歌集』

六月被 ちよふふかぢうふ川を流してゆくと思ふはかなきを
 河上露 ながむらふ川にのこると思ふはかなきを
 河千鳥 林をたぐりて川を渡るを思ふはかなきを
 〇 淀 川 山城紀伊郡

淀川 舟中月 舟をたぐりて川を渡るを思ふはかなきを
 河霧 舟をたぐりて川を渡るを思ふはかなきを
 河氷 舟をたぐりて川を渡るを思ふはかなきを
 柳風 舟をたぐりて川を渡るを思ふはかなきを

〇 吉野 川 大和吉野郡
 吉田 正徳

花満 山門 舟をたぐりて川を渡るを思ふはかなきを
 河 山門 舟をたぐりて川を渡るを思ふはかなきを
 河 山門 舟をたぐりて川を渡るを思ふはかなきを
 河 山門 舟をたぐりて川を渡るを思ふはかなきを
 冬川 舟をたぐりて川を渡るを思ふはかなきを
 寄杖恋 舟をたぐりて川を渡るを思ふはかなきを
 〇 玉 川 山城越前郡

高世 泰庭 磐里

山口大学図書館「棲息堂文庫」所蔵『名所歌集』

河 迎	紅 華	紅 雪水	紅 蓮葉	川 落葉	水 迎	名 洲花	水 迎	河 土花
あつこいさのしよあつこいさの月影も影やうつらう	あつこいさのさきさきそらに花はかきかき							
新 正	同	真 和泉	井 上	井 上	井 上	井 上	井 上	井 上
信 行	和 泉							
豊 頼	善 道							
盛 業	盛 業	盛 業	盛 業	盛 業	盛 業	盛 業	盛 業	盛 業
笠 因	笠 因	笠 因	笠 因	笠 因	笠 因	笠 因	笠 因	笠 因
清 雅	清 雅	清 雅	清 雅	清 雅	清 雅	清 雅	清 雅	清 雅

五十五

冬 川	鹿	名 所月
あつこいさのさきさきそらに花はかきかき	あつこいさのさきさきそらに花はかきかき	あつこいさのさきさきそらに花はかきかき
之 正	貞 剛	貞 剛
廣 臣	廣 臣	廣 臣
李 慶	李 慶	李 慶
頭 忠	頭 忠	頭 忠

○田上川 近江景水郡

山口大学図書館「棲息堂文庫」所蔵『名所歌集』

○梅津川 山城昔野郡

河辺梅

かげんくはのなまむらさきくも梅津のまの月夜

久世 光苞

河郭公

かみくさくさく月夜梅のまの川も梅津のまの月夜

藤原 光苞

釣

いかにて水もくさくさく梅津のまの川も梅津のまの月夜

藤原 重道

○宇治川 同宇治郡

柳隨風

よしの風は吹くかきく梅津のまの川も梅津のまの月夜

菅原 高僧

河辺堂

かきく水もくさくさく梅津のまの川も梅津のまの月夜

菅原 隆正

川上藤

かきく水もくさくさく梅津のまの川も梅津のまの月夜

菅原 隆正

河冬月

かきく水もくさくさく梅津のまの川も梅津のまの月夜

菅原 隆正

純武治

かきく水もくさくさく梅津のまの川も梅津のまの月夜

菅原 隆正

宿木

やまの木もくさくさく梅津のまの川も梅津のまの月夜

菅原 隆正

○大堰川 同若野郡

水邊花

かきく水もくさくさく梅津のまの川も梅津のまの月夜

菅原 隆正

鵜川

かきく水もくさくさく梅津のまの川も梅津のまの月夜

菅原 隆正

河霧

かきく水もくさくさく梅津のまの川も梅津のまの月夜

菅原 隆正

川上

かきく水もくさくさく梅津のまの川も梅津のまの月夜

菅原 隆正

○音羽川 同愛宕郡

水郷霞

かきく水もくさくさく梅津のまの川も梅津のまの月夜

菅原 隆正

川雪

かきく水もくさくさく梅津のまの川も梅津のまの月夜

菅原 隆正

閑恋

かきく水もくさくさく梅津のまの川も梅津のまの月夜

菅原 隆正

○大井川 遠江駿河國

河時雨

かみ人の降雨おむらふ雨の降りやうきとゆきておれぬ

尊孫

大井川

おもしろくやうきなぬ井の合ふとておれぬ

美郷

大井川のわたりとまたりとのおもしろく日ほやうちゆき

おもしろくおれぬおれぬおれぬおれぬおれぬおれぬ

良道

○音無川 紀伊丹波郡

河春雨

おもしろくおれぬおれぬおれぬおれぬおれぬおれぬ

基弘

河五月雨

おもしろくおれぬおれぬおれぬおれぬおれぬおれぬ

長彦

待恋

おもしろくおれぬおれぬおれぬおれぬおれぬおれぬ

正彦

○思川 筑前御笠郡

名所歌集

河蟹

かまゆりおれぬおれぬおれぬおれぬおれぬおれぬ

中原 義楠

通書恋

おもしろくおれぬおれぬおれぬおれぬおれぬおれぬ

伊豆 宜繁

寄川恋

おもしろくおれぬおれぬおれぬおれぬおれぬおれぬ

安芸 正之

○標橋川 大和十中郡

鴉川

おもしろくおれぬおれぬおれぬおれぬおれぬおれぬ

高世

川上登

おもしろくおれぬおれぬおれぬおれぬおれぬおれぬ

大枝

深夜雨

おもしろくおれぬおれぬおれぬおれぬおれぬおれぬ

玄甫

○掛田川 世勢郡

初春川

おもしろくおれぬおれぬおれぬおれぬおれぬおれぬ

廣直

外宮跡宮中西宮屋敷七十おれぬおれぬおれぬおれぬおれぬおれぬ

山口大学図書館「棲息堂文庫」所蔵『名所歌集』

はる川
○隈 長川 播磨赤松郡

渡月 三月月夜に舟を乗せ、内をまわると、花のつらやうなり

八月の夜、夜をこけて、深の河に舟をこけて、あやむら

○野洲川 近江野洲郡

寄者野志 近江野志、舟をこけて、昔の舟をこけて、舟をこけて

治久の舟をこけて、舟をこけて、舟をこけて、舟をこけて

○古 川 大和城上郡

舟をこけて、舟をこけて、舟をこけて、舟をこけて

紫川

神古 弘鏡

小橋 一之

龍唐

舟由

名所歌集

川上花

河舌雨

河水鳥

河春晴

夏川

冬川

○衣 川

みもの川

高伴

初雪をこけて、舟をこけて、舟をこけて、舟をこけて

さかき川、舟をこけて、舟をこけて、舟をこけて

舟をこけて、舟をこけて、舟をこけて、舟をこけて

○富士川 駿河富士郡

舟をこけて、舟をこけて、舟をこけて、舟をこけて

舟をこけて、舟をこけて、舟をこけて、舟をこけて

舟をこけて、舟をこけて、舟をこけて、舟をこけて

舟をこけて、舟をこけて、舟をこけて、舟をこけて

舟をこけて、舟をこけて、舟をこけて、舟をこけて

刺茶

尚之

小田 息之

福 為風

柳 公章

真故

高伴

高伴

山口大学図書館「棲息堂文庫」所蔵『名所歌集』

安部 貞任

春の山田に水は流るるをいふ歌はぬあつたをりたるを

弘 正 方

古宮 秋

つりもつり水原を履き居るさうりつりもつりもつり

弘 春 夫

水は流るるを古宮御堂に坐す十月十日に集りてわづらひ
つりもつり水原を履き居るさうりつりもつりもつり

井 信 順
信 順

河 霧

なつたさうりの淵に水は流るるを食料の淵に

三 政 臣

冬 川

なつたさうりの水は流るるを食料の淵に

三 惟 直

寄川 恋

なつたさうりの水は流るるを食料の淵に

小 三 保 子

遠川 懐

なつたさうりの水は流るるを食料の淵に

小 真 実

○天 川 河内文部

名 冊

なつたさうりの水は流るるを食料の淵に

春 門

傳 冊

なつたさうりの水は流るるを食料の淵に

先 房

名 冊 河

なつたさうりの水は流るるを食料の淵に

小 藍 菴

水 迎

なつたさうりの水は流るるを食料の淵に

春 夫

立 春 川

なつたさうりの水は流るるを食料の淵に

伊 重 枝

○安 治 川 同 三 成 郡

なつたさうりの水は流るるを食料の淵に

伊 重 枝

三 保 子

山口大学図書館「棲息堂文庫」所蔵『名所歌集』

とてそらなむかひ初度は安は月にて

大國 幸秀

河水鳥 和出らば事有りやのひきひかむとてのり水すのよす

尚隆

○天中 建江山名郡 天龍川之古名

一衛

河五月雨 中つたに雲中まを流れんあふる月の光のたけ

三積

いそぐ中へ人のそよのそよいけり

志保のたねの中川大を同じくし流れりもあつち中よそ

○綾瀬川 武蔵葛飾郡

三積

河上 秋のそよめは流れ門をぬけて月をそよめ

正典

村のそよめは流れ門をぬけて月をそよめ

元雄

○安福麻川 徳真正理郡

恭光

忍 忍のそよめは流れ門をぬけて月をそよめ

旅雄

幸邊 忍のそよめは流れ門をぬけて月をそよめ

此等

○佐保川 大和郡上郡

三積

山口大学図書館「棲息堂文庫」所蔵『名所歌集』

春色

源色

夏川

初冬風

○相模川

三月のまわりくくお押門よりかたて

のち風をたふさぐよそ水もあはれなるかたてのまわりくく

河夕立

晴嵐

○櫻川

暮春川

名所五六

内庭

香久義

高井徳

久流

長瀬

俊臣

宜門

河月

河氷

河辺霞

河辺螢

河恋

新登曲

○貴布禰川

きつ川せうせうけりまはるるなななななななななななな

まの川のながれあふまはるるなななななななななななな

をしくをさふさふをさふさふをさふさふをさふさふをさふさふ

ま布禰川のせうせうけりまはるるなななななななななななな

まの川のながれあふまはるるなななななななななななな

三空

道文

宜長

貞固

袖子

季磨

武友

平道

○流川

山口大学図書館「棲息堂文庫」所蔵『名所歌集』

寄藤忠

こころの川を流るる水は○をたぐりて流るる水と
若中のみわたりてつひの川にたぐりて流るる水と

長延

宗惠

○菊 川 遠は茶原郡

病中

よもぎがらふさなと花さき川の水も流るる水と
我がくぬかやふさなと川の水も流るる水と

廣隆

櫻儀

菊川

ひたひたの川は流るる水と川の水も流るる水と

良宗

○吉 旗 川 信濃筑摩郡

流るる水と川の水も流るる水と

あつちの川の水も流るる水と川の水も流るる水と

雙持

五月雨

五月雨の川の水も流るる水と川の水も流るる水と

近年

吉田至也

夕

講十川

大木まきまき川の水も流るる水と川の水も流るる水と

正典

廣延

河納涼

水も流るる水と川の水も流るる水と

松後

月

月夜は流るる水と川の水も流るる水と

松直

尊祥

春風

可憐な川の水も流るる水と川の水も流るる水と

野

北礼雅

景樹

河紅葉

名所の水ありて世を染むるは秋の川に人ぞも
あまのこころを染むるは秋の川に人ぞも

村田
四葉
秋之

名所
若菜

若菜の香をみよとて大空をみよとて
若菜の香をみよとて大空をみよとて

水野
京唐
美石

○関小川 近江志賀郡

名所
蘭路水
暗波
遠水

蘭路水の清き水も
蘭路水の清き水も
蘭路水の清き水も

真淑
東慶
由豆伎
竹井
茂雄

五甲寺

河彦花

名所
野公

河水

河蛙

五月雨

旅道
恋

○関 彦藤川 美濃不破郡

彦藤川の清き水も
彦藤川の清き水も
彦藤川の清き水も

○鈴 鹿川 伊勢鈴鹿郡

鹿川の清き水も
鹿川の清き水も
鹿川の清き水も

旅道の清き水も
旅道の清き水も
旅道の清き水も

若菜
静庵

西野
枝直
周文

多摩
氏純

光雅

長
真幸

寛光

山口大学図書館「棲息堂文庫」所蔵『名所歌集』



山口大学図書館「棲息堂文庫」所蔵
『名所歌集』